

1人1台端末の効果的な活用に向けた取組

越前市武生南小学校

1 取組の概要

今年度の具体的な取組は以下の3点である。

・一人一授業

例年の指導主事訪問、学校公開に加え、一人年間一回以上は校内での授業公開を実施した。参観者は、可能な限り異学年の授業を参観することで、どの学年でどのようにタブレットなどのICT機器を活用しているのか、そしてタブレットを活用しながら、対話的な学び、深い学びがどのように行われているのかについて子どもの見取りを中心に行った。



・現職教育

年度初めにテーマに即した具体的な授業改善案について協議した。以降、定期的に低、中、高学年部会を行い、実態の把握、具体的な取組の共通理解、実践、省察に努めた。

夏休みには指導要領の再確認を図りながら、思考ツールの活用や問題解決学習の推進、タブレットを活用しながらの板書や授業の進め方はどうしたらよいのかなど、様々な視点で授業作りについて協議した。

・授業支援サポートの活用

家庭科の授業では仁愛大学と連携し、学生数名の派遣協力を依頼した。栄養のバランスや食材の組み合わせなどをふまえた食事メニューを考案する話し合いに参加してもらった。グループごとにタブレットを使いながら話し合いを行った。

8月25日 先生も2学期に向けて学習中です

500

今日は、2学期の授業作りについて全職員で研修をしました。教務主任から指導要領に沿った授業のポイントについて授業をもらいました。また、授業でのタブレットPCの活用の仕方については、県の授業名人の先生の授業を見て、自分ならどのように応用するか考えてみました。これからの自分の授業に活かせるといいです。



先生達も子ども達に負けないようにしたいとね。

2 効果があった取組と次年度の課題

① 図や写真、グラフへの書き込み

社会や算数、国語の文章の読み取りなどで多く行われた。導入で活

用することで子どもの気づきから生まれる学習課題の設定、また課題追究の場面では、多くの子どもの考えを拾うことができた(図1)。

②記録、観察、学習のまとめ、振り返り

理科では実験、観察の経過を分かりやすくまとめることができた。天気図なども簡単にインターネットから取り込むことができた。カレンダーの中に成長の様子を写真で貼り付けたり、動画を記録としておさめたりする取組もあった(図2)。

③グループでの共有シートの活用

数名のグループを作り、一枚のシートに同時に書き込む場面が多く見られた。道徳の授業では、「夢を叶えるために大切なことは何だろうか」という問いに対して、様々な考えを出し合いながら考えを広げていた(図3)。また国語の俳句づくりの授業では、テーマにあった語句を出し合い、それらを参考にして俳句を作ることができた。その際に画面に表示された語句と対話しながら意見を書き込む場面が見られ、学びの深まりを感じた(図4)。

今年度、様々な取組を進めていく上で、タブレットを効果的に使う場面はどこなのか、どのように活用すべきなのかを協議し、活用の幅を広げることができた。その中で互いに考えを伝え合い対話的な学びを深める授業づくりについて考察することができた。児童へのアンケートからは、授業への取組の主体性、学習への理解度の高まりが見えてきた。

次年度は子どもたちの資質・能力のさらなる向上に向けて、一人ひとりの特性や興味・関心に即した個別最適な学びや協働的な学びを生み出す授業づくりに向けて取り組んでいきたいと考える。その為にはタブレット端末を効果的に活用しながら協働で研究を進めていきたい。

図1



図2

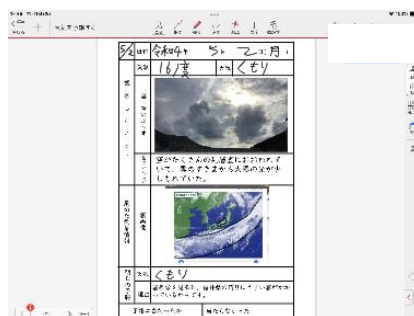


図3



図4

